



知っておこう! 災害時の情報収集手段

町では、災害時や緊急時に住民の皆さんへ情報を迅速に伝えるために、町内全域で防災行政無線を運用しています。そのほか、町ホームページやLINE、KBCテレビのdボタン広報誌で情報を発信しています。利用可能な手段を活用し、自らの命を守るための積極的な情報収集をお願いします。また、避難情報や気象情報、洪水や浸水害などの危険情報は公的機関から正確な情報を入手してください。

災害・防災情報はここから入手!



※このほか、携帯電話会社の緊急速報メール（エリアメール）などでも災害・避難情報を確認できます

防災通信

●問い合わせ
総務課 危機管理室
☎ 093・588・1037



「自らの命は自らが守る」意識で、適切な行動を!



できていますか? 自然災害への備え

自然災害はいつ起こるかわかりません。被害を最小限に抑えるためには日ごろからの準備や心構えが必要です。突然起きる災害に備えておくべき主なことについて紹介します。

【家の周囲の点検と整備】

雨どいや側溝を掃除して、水の流れを良くしておきましょう。また、壁や塀などに破損しているところがないか確認し、不具合があれば修理や補強をしましょう。防災情報マップなどで家の周りの危険箇所を調べておくことも重要です。

避難経路や
周囲の危険箇所を
事前に確認!



【避難所などの確認】

避難所や避難経路、家族が離れ離れになったときの連絡方法や集合場所などを事前に確認しておきましょう。

- 災害用伝言ダイヤル/局番なしの「171」にかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。
- 災害用伝言版/携帯電話やインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

食糧などを備蓄し、いつでも持ち出せるように

豪雨や地震などの災害が発生すると、電気やガス、水道などのライフラインが使えず、物流も機能しなくなるおそれがあります。このため、最低でも3日分の食糧や水などを家庭で備蓄しておくことが重要です。また、災害時に速やかに避難するため、自身に必要な1日以上分の食糧や水などを非常持出品としてまとめておき、持ち出せるようにしましょう。

●非常持出品の例

食品、飲料水、ミルク、懐中電灯、持病の薬、救急用品、貴重品、衣類・下着、など

●備蓄品の例

食品、水（飲料水・非飲料水ともに）、ミルク、懐中電灯、持病の薬、救急用品、衣類・下着、毛布、ティッシュ、トイレトペーパー、携帯用トイレなど



命を守るために 早めの避難を!

災害から命を守るもっとも有効な手段は、早めに避難することです。下表の「災害時に発令する避難情報」などを前もって確認し、もしもの時に適切な避難行動がとれるようにしましょう。

避難のポイント

- 危険な場所にいる人は、迷わず避難することを心がける。
- 災害状況に応じて、避難所だけでなく安全な親戚宅やホテルなどへ避難したり、自宅が土砂災害や浸水のおそれが高い場合は外出を控えたりする（屋内安全確保）など、臨機応変に行動する。
- やむを得ず車中泊をする場合は、浸水などの危険性がない場所で行い、こまめな水分補給や定期的な運動、換気をするなど、健康を損なうことのないよう心がける。

警戒レベル	避難情報等
5 災害発生 又は切迫	緊急安全確保※1 すでに安全な避難ができず、 命が危険な状況です!
～〈警戒レベル4までに必ず避難!〉～	
4 災害の おそれ高い	避難指示※2 危険な場所から必ず 全員避難してください。
3 災害の おそれあり	高齢者等避難※3 避難に時間がかかる方は 危険な場所から避難してください。
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 災害のおそれが高い時、または高い地域に発令されます。避難指示が発令されたときは、危険な場所から必ず避難をしてください。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備を始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。